

第2回今治市中心市街地創生デザイン会議 議事概要

日 時：令和5年11月22日（水）午後1時30分～午後3時40分

場 所：今治市みなと交流センター「はーぱりー」 1階 みなとホール

出席者：井口梓、大成経凡、羽鳥剛史、菊川堅吾、友田康貴、長野和幸、南條仁、原竜也、越智智美、窪仁志、白石道子、青陽孝昭、松野義也、山本優子（第一号委員から第三号委員毎に五十音順）

議事

1. 今治市中心市街地まちづくり構想の実現に向けて
 - (1) 前回の振り返りと本日の検討事項
 - (2) 中心市街地公共空間デザイン戦略（案）について
 - (3) シビックゾーンの施設再編パターンについて
 - (4) 今後のスケジュール

議事概要

○シビックゾーンの施設再編パターンについて

【委員意見】

- ・ 候補地の整理だけでなく、施設周辺のデザインや跡地を含めてどのように活用していくのか、デザイン会議で考えていく必要がある。
- ・ ドンドビ周辺は中心市街地の入口・出口であり、何かあった方がよい。コンテンツがしっかりしたものがあれば人が集う。人が集う仕掛けをつくりながら、近くにオープンスペースがあり、そこでも人が滞在できるといったものを芝っち広場周辺でやっていくのは非常にいいかもしれない。
- ・ 芝っち広場は民間の所有物だが、今治市が買い上げ、市が主導になって進めていくことも考えられる。
- ・ 市民が集えることが前提だが、芝っち広場や港エリアに人が集うことによって、商店街も含めた中心市街地全体も良くなるのではないかな。
- ・ 公共施設は人が集まらざるを得ない場所。そういう意味では、ポテンシャルを秘めていると思うので、その場所をより効果的に使える仕掛けを周辺も含めて考えていくことが大事。
- ・ 複合化しようとしている施設は行政機関が多いので、候補地としては B 案がスムーズに移行できるのではないかな。
- ・ まちの発展を考えたときに大通りに面した A 案か C 案が望ましく、ケヤキ通りに面した候補地 C 案が良いと思う。
- ・ 【事務局】 候補地 A は郵便局の敷地が含まれるため、複合案に郵便局の賛同が必要。候補地 B は愛媛県の敷地のため、愛媛県の賛同が必要。また、郵便局と警察の間の通りが狭いので、人

通りが多くなると事故等の懸念がある。現在民間の駐車場になっている場所に、ケヤキ通りから旭町に向けて新しい道路をつくる必要があると想定している。候補地 C は諸条件がなく、今治市所有の土地である。

○中心市街地公共空間デザイン戦略（案）について

【委員意見】

（今治商店街）

- ・ こどもが真ん中フェスタは非常に良いイベントだった。商店街を子どもが遊べる空間に、という案があったが、まさしくそれができたのではないか。これを日常化することが大事である。
- ・ 商店街を子どもたちのプレイ・ストリートとする計画があるが、商店街側の意見は様々あるものの、基本的に子どもが来るのは皆さん喜んでいる。負担に感じられる方も中にはいるのでしょうが、大まかには大丈夫だと思う。

（今治港）

- ・ 中心市街地があって、港があり、商店街とつながっている。これは今治独自のもので、他の都市ではできないことだと思う。
- ・ 海の駅、道の駅のような感覚でまちを整備したら、海の駅と道の駅がつながってくるのではないかと。海は外せない。
- ・ 【事務局】港の整備に関しても非常に重要。港に関しては、は一ぱりーが現在の形でいったん整備できているので、それ以外の活用等を考えている。最終的には海の駅も含めて一体的に検討したい。

（広小路）

- ・ 広小路はポテンシャルが非常に高く、土地としても利活用の自由度が高いところなので、中心市街地のエリア全体の雰囲気を変える戦略としては、ここをドラスティックに歩きやすいまちにしていく戦略が面白いのではと思う。港の話とも関連して、駅を降りて港まで行ける軸を大事にしていく。最終的には、そこを変えることで商店街にも賑わいが生まれる方向に進めていきたい。
- ・ 広小路と商店街の機能分担については、車も含めたメインの動線は広小路に持たせるべきだが、商店街は遊びの空間・食の空間で、広小路は散策や憩いの場という形で分担が必要。
- ・ メリハリのある空間として、役割を明確にしていくのはとても大事。
- ・ 広小路はシンボルになる。商店街は子どもたちを対象に立ち止まりたくなるような仕掛けづくりが必要。港を中心に先人たちの価値を活かしていくべき。

（トイレに関する意見）

- ・ 人が集まるならトイレが必要。現在、商店街に小さな授乳室やトイレはない。
- ・ トイレは公民館やコンビニ、公園などを紹介するしかないのが問題。
- ・ 商店街にトイレや授乳室を整備していかないとイベント時に困る。常時人を集めるなら整備は必然。
- ・ トイレや授乳室が足りているのか、足りていないのかの前に、あることを知らないような気がするので、アナウンスが必要。公共空間で最も大切なトイレが知られていないのは問題である。整備しなくても、案内するだけで解決する可能性もある。
- ・ 【事務局】相当な人手が予想される場合は簡易トイレを臨時で設置して対応することになるので、パンフレットや広報等を通じてトイレの位置を事前に知らせるなど徹底しているが、イベントの度にトイレの問題があり、重要性は十分認識している。今後、まちの整備に関しては公共のトイレも重要な問題として考えていきたい。
- ・ トイレ整備は将来的にもする必要はあるが、現在の数、過不足の分析も必要。
- ・ 【事務局】トイレはどれだけ需要があるか、分析は不十分な状態。

(回遊性に関する意見)

- ・ 周辺に人がにじみ出ていくような仕組みづくりの必要性がある。新モビリティ導入の話があるが、導入したからといって回遊性が高まるほど問題はシンプルではない。結局、行きたい場所がなかったり、あるいは行きたい場所を知らないと、人の動きは変わらない。
- ・ 周辺に店舗がないと立ち止まってくれないので周知を図ることも重要。
- ・ 回遊性が生まれれないのは、回遊の仕方がわからないからではないか。
- ・ 今治駅から港までどう歩いてもらうか。ターゲットの話があるが、入口・出口のアナウンスが必要で、それによって回遊性を促すことが効果的ではないか。
- ・ イベントでもいいからまずは使ってみようという意欲は出てきていると思うので、そこを大切にすることが必要。
- ・ 段階を踏んで5年後、10年後の目標を立てるべき。商店街の空間は現実的で実現性が高い。そのときに、ハード整備だけではなく、プレイヤーの方に参画を促すような社会実験ができればよいと思う。

(エリアマネジメントに関する意見)

- ・ プレイヤーが集まってまちづくりをみんなで考えることが大事。その時にプレイヤーの受け皿となる組織はあるのか。大洲市はキタ・マネジメントという組織をつくり、市民と産官学が連携して主体的に動き、それを市がバックアップしている。
- ・ 市民を主体とした体制づくりとして、行政と地域の間立てるような組織をつくっていかないと、プレイヤーが今治のまちを担うという体制にはならない。

- ・ 【事務局】プレイヤーの組織づくりは重要だと認識している。ただし、すぐに出来上がるような組織ではないので、まずは公共ができるところから進めていきたい。来年度以降、重点的に今回のシビックゾーン以外のエリアで議論を進めていきたい。

(その他)

- ・ 商店街の話になるといつも駐車場の話があり、今回のアンケート調査でも意向を把握しているが、駐車場は足りていると読み取れる。それでも、入口、出口がわかりにくいので、今治駅か港のところでトイレも含めたまちの案内をする必要があるのでは。
- ・ ほこみち制度を導入していただければプレイヤーも参入しやすくなる。
- ・ 【事務局】ほこみち制度の導入は積極的に進めていきたい。加えて、現在、公共空間の使用申請をサポートするために一元化してワンストップのような取組ができないかを検討中である。
- ・ 市には様々なコンテンツがあるが、移転後の市役所を産業資料館として活用するイメージはあるのか。
- ・ 【事務局】点在する美術館、博物館を可能な限り1箇所に集めて、市民が多くの特展を鑑賞できる空間にしたい。新設の際には、市民が使えるアトリエ的な機能を加えた美術館にしていきたい。産業資料館に関しては考えがなかったが検討したい。